

アジア特許情報研究会設立 10 周年によせて

橋本武彦

私が知財情報に関わるようになってから 20 数年経ったが、この間、特許情報を検索する環境は大きく様変わりした。当時を振り返ると、日本特許の検索は PATOLIS、外国特許の検索は DWPI、そして化合物検索には REGISTRY ファイルと CA ファイルを使うというのが一般的であった。

そのような中で、PATOLIS を使った日本特許の検索ではテクニカルタームごとに独自のフリーキーワードコードが付与されており、検索前には一覧表から検索に用いるテクニカルタームに対応するフリーキーワードコードを調べて検索式を立てて検索した。当時は通信環境も今のように整っておらず、モデムで接続して検索していたため通信速度も遅く、接続時間料金を気にしながら検索し、検索結果の出力方法も今のようにオンラインで出力することはめったになく、FAX、または印刷で受け取っていたものである。また、化合物検索については当時は現在のようにネットワーク環境や構図質問式を作図する GUI も提供されていなかったため、モデムで接続してからコマンドをたたきながら、隣で騒がしく動くドットプリンタに焦らされながら作図していたのが懐かしい。

私は 90 年代半ばから高分子化合物に関する検索について研究する PLASDOC オンライン研究会に参加しているが、当時は適合率や再現率を上げるための検索をするための研究をメインに取り組んでいた。

90 年代後半になると、インターネット環境が普及し、WEB または専用のクライアントソフトを使って複雑なコマンドを知らなくても容易に検索できるようになってきた。また、データベースが提供するデータも、従来の抄録と独自索引程度の内容から、フルテキストの情報も提供されるようになり、それは日本国内にとどまらずグローバル規模で特許をフルテキストで検索できるように変わっていった。

この頃になると、適合率や再現率を気にするのは当然のことであるが、それに加えてどこの国のデータがどの程度カバーされているのか、データベースごとのカバレッジが注目されるようになってきた。同時に、インターネットの普及によって、無料でも多くの情報が入手できるようになってきた。そして、韓国、中国といった新興国の特許情報を漏れなく、スピーディに収集する必要性が特許情報の世界で高まった。

PLASDOC オンライン研究会においても、もちろん化合物検索についての研究も継続して取

り組んできたが、それに加えてアジア特許の調査方法、および調査結果の読み方（翻訳方法）についての研究も行われるようになってきた。ここで中心的にリードして下さったのがアジア特許情報研究会主宰の伊藤徹男氏である。

最初の頃は韓国特許はハングルで、中国特許は中国語で検索する必要があったが、それらの言語に精通していない我々がアジア圏の特許を検索することは容易ではなかった。そのため、まず翻訳サイトを評価する必要があった。今のようにGoogle 翻訳がメジャーになっていなかった当時、Yahoo!やExcite などの検索ポータルサイトで提供している翻訳機能を評価し、実務で活用できそうなサイトがどこなのか、それを探すところからスタートした。

商用データベースの世界でもアジア特許の重要性は高まってきて、毎年秋に開催される特許・情報フェアにおいても、アジア特許が一大ブームになったことは印象深い。各データベースとも、アジア特許の収録と翻訳精度の向上、収録タイムラグの短縮化に鋭意取り組んでいた。

その当時、日本企業においては、例えば中国について、従来からの世界の工場としての位置づけから重要なマーケットととらえるようになり、それに伴い当該国の知財情報を把握する重要性が増してきた。しかし、前述のように言語の壁や調査手段が確立していなかったことによって、検索するには大変苦労した記憶がある。

そのような時に、アジア諸国の知財情報検索を身近にしてくれたのが、伊藤氏率いるアジア特許情報研究会である。同研究会メンバーの日々たゆまぬ努力があったからこそ、昔に比べたら格段に容易にアジア諸国の知財情報を収集できるようになったのである。また、同研究会の活動は研究成果をメンバーだけで共有するのみならず、色々な場で発表されたり、投稿されたりと知財情報の業界への貢献は多大なものであると感じる。

この度は、設立 10 周年ということで本当におめでとうございます。伊藤氏はじめ、非常に意識の高いメンバー各位の貢献があったからこそ、アジア特許情報が今日のように身近になったものと感謝しています。

現在では、知財情報をどのように集めるかということから一歩進んで、集めた情報をどのように活用するか、事業に結び付けていくかが重要なテーマになってきていると感じます。今後ますますのご発展を期待しております。

以上